



第4部門 『生涯学習まちづくり』

(平成 17 年 7 月発行)

A 5 102 ページ

本書は、生涯学習まちづくり活性化方策の実証的展開を論記している。「生涯学習まちづくり」の意義と方法、各方面（生涯学習宣言都市、エコミュージアム、スポーツ、グリーンツーリズム、ボランティア、観光、体験交流）からのまちづくり研究や事例等を満載した研究書である。

目次

I 生涯学習まちづくりの意義と方法

福留強（聖徳大学生涯学習研究所所長・聖徳大学人文学部児童学科教授
NPO法人全国生涯学習まちづくり協会理事長）

II 生涯学習まちづくりと活性化方策に関する研究

1. 生涯学習宣言都市 松澤利行（財団法人やしお生涯学習まちづくり財団常任理事
NPO法人全国生涯学習まちづくり協会理事）
2. エコミュージアムによるまちづくり
里見親幸（㈱丹青研究所 常務取締役副所長
常磐大学大学院コミュニティ振興学研究科兼任教授）
3. スポーツ合宿による『地域づくり経済効果』支援システムの構築
古市勝也（九州共立大学九州女子短期大学生涯学習研究センター所長・教授）
4. グリーンツーリズム
豊村泰彦（教育新聞社編集局報道部部長
NPO法人全国生涯学習まちづくり協会理事）
5. 今何故、まちづくりボランティアか
齊藤ゆか（聖徳大学生涯学習研究所講師）
6. 花と音楽の町宣言 田中宏（北海道女満別町教育委員会生涯学習推進室長・図書館長）
7. コレクティブハウジングの交流室を地域に開放し生涯学習の核を作る
小玉文吾（芦屋 17°C 倶楽部前理事長）
8. 観光まちづくりと生涯学習
米田誠司（由布院観光総合事務所所長）
9. 観光ボランティアガイドと生涯学習
内田州昭（愛知学泉大学教授）
10. 体験交流学習を活かしたまちづくり
山田知子（比治山大学現代文化学部地域文化政策学科）

III 活性化方策に関する事例

1. 生涯学習の観点に立った少子・高齢社会の活性化の取組（市民の事例）
叶内路子，高橋敏夫，岸本秀子，福光正子，関福生，文珠川雅士，多湖かづ子，尾池富美子，庄司勲，為田和代，永田伸夫，平田正，栗山祐子，中村哲夫，西野節子，平松清美，鈴木洋子，河岡豪，川松俊夫，青沼滋喜，鈴木迪雄，日野美紀，岩崎裕美，加藤俊男，山口達男，山崎知範，亀山秀郎，原田久江，名護勘一，森和美，難波江敏子，福森宏昌，新田喬子，渡部一清，江里口充，西山香代子，齋藤ミヤ，横川アケミ，漆原美智子（執筆順）

IV NPO法人全国生涯学習まちづくり協会における蓄積